

平成 23 年 6 月 30 日

お客さま各位

一関信用金庫  
理事長 小野寺 勝宏

## 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について (平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月)

平素は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当金庫の「地域密着型金融推進計画」に基づく、平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月までの取組み状況についてご報告いたします。  
当金庫は、東日本大震災の復興支援並びに地域経済の活性化を通じて社会に貢献していくことが、地域金融機関としての使命であると認識し、今後も「地域密着型金融」の強化に積極的に取り組んでまいります。



一関信用金庫

## ・ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	取組方針	22年度実績
<b>創業・新事業支援</b>	政府系金融機関との協調による支援態勢の強化を図ります。 産学官の連携に向けた取組みを推進します。 創業等支援融資制度を見直し、利用推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 業務提携している日本政策金融公庫と連絡協議会を定期的開催し、情報交換に努めました。 平成22年度 創業・新事業支援融資実績 (3件 14百万円)</li> <li>➤ 財)岩手県南技術研究センターとの関係強化、企業情報交換会へ参加し、取引先2社紹介致しました。</li> </ul>
<b>経営改善支援</b>	中小企業診断協会岩手県支部との連携強化を図り、金融面に留まらない経営改善指導を行います。 国、県の中小企業支援施策の積極的活用を推進します。 本部支援担当と営業店の連携強化による経営支援機能の拡充を図ります。 経営改善計画策定に係る相談・指導が行える人材の養成に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 経営支援部署の専担者が取引先企業への訪問による経営改善に向けた資金繰り指導を行い、経営改善計画策定指導実施しました。 経営改善計画策定先数 5先 ランクアップ先数 1先</li> <li>➤ 職員の経営改善計画策定能力向上を目的に信金中金より講師を招き、中小企業経営改善支援実務研修を実施しました。 平成22年度 受講者数24名(9月10日・11日)</li> <li>➤ 岩手県信用金庫協会主催の中小企業経営改善支援研修へ4名派遣致しました。</li> </ul>
<b>事業再生</b>	岩手県中小企業再生支援協議会との一層の連携強化を図ります。 新たな再生手法の研究の為の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 全信協再生支援実践講座へ職員1名派遣いたしました。</li> </ul>
<b>事業承継</b>	各種研修会等へ積極的に参加し、事業承継に係る専門知識・ノウハウの習得に努めます。 「経営塾」を開塾し、次世代の若手経営者等の育成を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 次世代経営者の育成支援を目的に「いちしん経営塾」を21年5月に立ち上げました。 平成22年度 2期塾生数 45名 勉強会、ビジネスマッチ視察等計5回開催</li> <li>➤ 経営塾主宰により外部講師招聘による公開セミナー開催致しました。 参加者数 90名</li> </ul>

# 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	取組方針	22年度実績
<b>目利き能力の向上をはじめ事業価値を見極める融資</b> (不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底)	外部研修に職員を積極的に派遣し、目利き能力の向上に努めます。 ABL(動産・債権譲渡担保融資)の活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 東北地区信用金庫協会主催の「目利き力養成講座」に3名派遣し目利き能力向上に努めました。</li> <li>➢ 全信協主催の目利き力養成講座に1名派遣し目利き能力向上に努めました。</li> <li>➢ FPの資格取得を推進し22年度はAFP1名・FP2級1名が資格取得しており、職員の能力向上を図っております。</li> <li>➢ 「当座貸越(ABL専用型)」事務取扱要領を平成21年9月制定し、担当職員向けの説明会を開催いたしましたが、取扱実績はありませんでした。</li> </ul>
<b>中小企業に適した資金供給手法の徹底</b>	地域の活性化、街づくりを支援する融資商品を創設し、利用推進を図ります。 セーフティネット制度の啓蒙と、利用推進を図ります。 シンジケートローンへの参画に取組みます。 農業事業者向け融資の利用促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 平泉の世界遺産登録を控え、岩手県の「産業創造県いわて」の実現に資する目的に岩手県の県単制度を活用した、地域貢献に向けた、資金「いちしん観光振興資金」を創設しました。(23年1月)                  平成22年度 実績 1件 4百万円</li> <li>➢ 平泉の文化遺産の世界遺産登録を支援する「平泉世界遺産ローン」を取扱、世界遺産登録支援を行っております。                  平成22年度 取扱実績 20件/59百万円</li> <li>➢ 農業事業者向け融資「にない手ローン」                  平成22年度 取扱実績 2件/2.9百万円</li> <li>➢ シンジケートローンの平成22年度取扱実績 1件/700百万円</li> <li>➢ 金融円滑化法の趣旨に則った中小企業向け貸付条件の変更等の取扱実績                  申込受付 340件/4,804百万円・実行 296件/3,654百万円・審査中 9件/99百万円(平成21年12月4日～平成23年3月31日現在)</li> </ul>

## 用語解説

シンジケートローンとは、企業の資金調達ニーズに対し複数の金融機関が協調融資団を組成し、同一の契約書による貸出等の信用供与を行う融資形態をいいます。

## ・地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	取組方針	22年度実績
<b>地域の面的再生</b>	<p>商工会、商工会議所との連携を強化し、地域活性化につながる金融サービスの提供をはじめ、各種事業への参画、人的貢献等を通じた地域支援に取り組めます。</p> <p>業界上部団体、関連機関との連携を密にし、地域活性化に寄与する情報を提供します。</p> <p>地域を担う経営者への支援強化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 東北地区信用金庫協会主催による「ビジネスマッチ東北 2010」(平成 22 年 11 月開催)に当庫取引 6 先社が出展しました。 商談成約件数 8 件</li> <li>➢ 一関市のまちづくりプロジェクト委員に参画、一関市街地整備に関する提言書を一関市に提出致しております。 委員 1 名を派遣</li> <li>➢ 日本政策金融公庫(農林水産事業)と平成 23 年 2 月 25 日に関連分野の業務協力に関する覚書を締結致し、『農業経営アドバイザー』3 名を養成中でありませす。</li> </ul>
<b>地域活性化につながる多様なサービスの提供</b>	<p>多重債務問題への対応として、地公体との連携強化を推進いたします。</p> <p>外部専門家による各種セミナーを開催し、公的制度等に関する情報提供を行います。</p> <p>若年層及び高齢者への正しい金融知識の普及と金融防犯意識の啓蒙を致します。</p> <p>地球環境にやさしい商品・サービスの提供を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 相互扶助・非営利の理念に基づく協同組織金融機関として、多重債務問題解決に向けた相談機能の発揮が重要であると認識し取り組みました。 本部融資部に専担者を任命し、各店へ訪問し研修会を開催致しました。 改正貸金業法に伴う総量規制の説明会開催致しました。参加者 43 名 平成 22 年度 相談件数 57 件 解決件数 36 件 融資実行件数 6 件 融資実行金額 15,320 千円 解決率 63.16%</li> <li>➢ A T Mの手数料『いつでも 0 円』を導入。当金庫のカードを当金庫の A T M で利用した場合は時間帯に拘わらず、手数料を一律に無料と致しました。</li> <li>➢ 障がい者・高齢者等に配慮した取組みを致しました。 音声誘導機能を設置 1 店舗・ハンドセット機能付き A T M の設置 3 店舗 全店に筆談ボード・杖ホルダーの設置・障がい者の窓口振込手数料の優遇を行いました。</li> </ul>

## ・ 協同組織金融機関としての取組み

項目	取組方針	22 年度実績
身の丈にあった収益管理やITの活用等を含めた態勢整備	信用コストを適正に加味した貸出金利の設定など収益管理態勢の整備を図ります。 ITの活用促進により顧客サービス機能強化に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ICキャッシュカードの導入によりお客様のより安心な取引のためセキュリティ機能を高めました。</li> <li>➢ 「おサイフケータイ」機能を利用した携帯電子マネーチャージサービスを開始しました。</li> </ul>
利用者からの評価を業務に適切に反映するための態勢整備	お客様のニーズに対応した商品、サービスの提供を行うことで地域の皆様に安心してご利用頂ける金融機関を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ お客様満足度調査を平成 23 年 2 月に実施し、調査結果にもとづくお客様のご意見・ご要望の分析し公開致しております。</li> <li>➢ お客様のご意見・ご要望を常に受け、窓口でのより安心・公平な取引をして頂くため、窓口受付機IQシステムの導入を致しました。導入店舗7店舗</li> </ul>
ガバナンスの強化	総代会の機能向上に向けた取組みを推進します。 今後もより一層地域の皆様に分かりやすい情報の開示に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 総代会制度についてご理解頂くためにディスクロージャー誌に分かりやすく内容を開示しました。</li> <li>➢ 総代会開催前に、各地区の総代を対象に役員が決算内容、事業計画等を説明する地区別懇談会を開催いたしました。</li> <li>➢ 反社会的勢力に対しての取組みとして、所轄警察署との連携により一層の体制整備を図りました。</li> </ul>
リスク管理態勢の充実	A L M委員会を通して統合的リスク管理の把握に努めます。 信用リスク、市場リスク管理態勢の充実に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 東日本大震災を踏まえ緊急時における下記の事項について危機管理計画書の改訂を行いました。 緊急対策本部の設置基準の見直し 災害発生時の拠点組織の見直し 拠点店舗の自家発電の確保ならびに非常用セットの購入(現在発注中)</li> <li>➢ 金融円滑化を進めるにあたり、信用リスクの計測に置いて、条件変更等を行った先を計測先に加え潜在的なリスクの計量化に努めております。</li> </ul>
法令等遵守の徹底	金庫内のコンプライアンスの意識を高め、徹底する庫内風土の醸成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 役職員を対象に外部講師によるコンプライアンス講習会を実施するとともに各課店による勉強会を年4回実施いたしました。</li> <li>➢ コンプライアンスに関する諸問題を討議する目的でコンプライアンス委員会を発足し、検討事項を常勤理事会へ提言いたしております。</li> </ul>